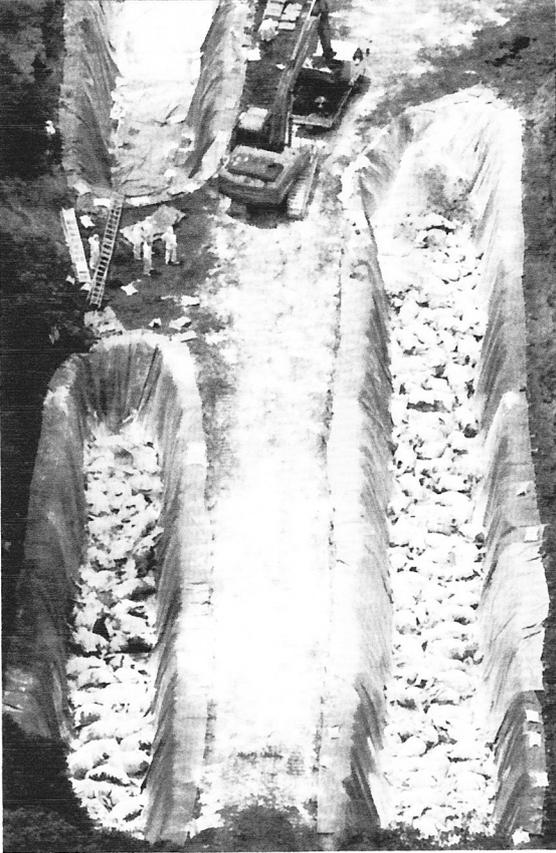


▼埋却処分される感染牛。深さ4mの穴の中に入れて、上から消毒剤の消石灰を撒く。このようにして29万頭が殺処分された

▶合同慰霊祭に出席した東国原知事。口蹄疫からの復興など問題山積なのに2期目不出馬を宣言。宮崎に見切りをつけた



前の今年1月には韓国でも発生しているが、「不特定多数の外国人観光客が入りしていた農場なのだから、ここが感染拡大させた」と思い切り感じさせる内容です。しかし、私の農場はカーナビに住所を入れても案内できないほど分かりにくいところにあります。「国籍不明」どころか、「観光客が来る」なんていう

「ことも一度もありませんでした」

実は竹島さんは山田正彦・前農水大臣（現・農水委員長）と農場で10月15日に面会している。その時の様子を、前大臣はホームページに記しており、「分かりにくい山中であって確かに観光客が来るようなところではない」と感想を書いている。山田前大臣は竹島さんに「7例目の大規模農場が3月に大量に抗生物質を発注していたということ、国は早い段階から掘っていた」と漏らしたという。抗生物質を購入したのなら、牛が一斉に何らかの重大な病気に感染した疑いが濃い。にもかかわらず農水省は初発を竹島さんとする所見を変えようとはしない。

「こんな噂もありました。地元の道休誠一郎衆院議員（民主党九州ブロック）が韓国の視察団を水牛農場に連れて来た」。道休議員とは会ったこともありません。「6例目の水牛農場が初発で感染源」という結論ありきで、海外から私の農場への感染ルートを探したいのでしょう。農水省の担当者とは何回か話しても「水牛農場が初発」は譲ろうとしません。自らのシナリオに沿って取り調べをする検察と

似たいます」

農水省になぜ竹島農場が初発と断定するのかと問うと、「2例の発症した農場を比較してみても、写真と、口蹄疫に感染した時にできる抗体値から判断をした」と回答された。しかし撮影した写真の枚数は各農場5枚程度。抗体の検査にしても、行ったのは口蹄疫の症状が出ている牛だけで、検査時、すでに治った牛がいる可能性について県は想定すらしていない。症状が出ていない牛（そこには治った牛が含まれている可能性がある）からも検体を採取していたら、初発農場がどこかの判断も変わってきた可能性がある。だが、すでに証拠となる牛は埋却されてしまいい検証のしようもない。最後に竹島さんはこう思いを紡いだ。

「農水省の口蹄疫対策検証委員会がこれからまとめる最終報告にはせめて、「初発と断定するにはサンプルが少なすぎると書いて欲しい。牛には心があります。隠し事をしたり不正をしたりした人は見抜かれます。不本意に命を奪われた牛たちはきっと、事の成り行きをジッと見ていると思います」

PHOTO 陣内雅義

場所も不明の農場に観光客ソロソロ

冒頭に記した通り、独身の竹島さんは、7月末に宮崎から福岡に出稼ぎに出て、爪に火をともしような生活を送っている。家賃3万7000円の部屋を借り、朝から晩まで働き続けている。節約しなければいけないから、居酒屋に飲みにも

として周辺に爆発的に拡大しているため、初発の可能性が指摘されたのだ。

だとすれば竹島さんは、濡れ衣を着せられたことになる。最初に牛に異常を見つけた3月26日から本誌の取材を受けるまでの20日間、竹島さんは一人でその地獄の日々に耐えてきたのである。

行かない。レストランで働いた経験がないため、皿洗いが仕事だ。そんな竹島さんの怒りは、県や知事に向かう。

「国と県にしっかりと感染ルートを調べて欲しいから、こうしてお話しているんです。今後、口蹄疫を防ごうにも感染の原因が分からない以上、防ぎようがないですから。それなのに……知事のブログには頭に来ました。」

7月25日に知事は「初発・6例目」と題してブログを更新しています。そのブログでは、3月31日に検体を提出した時と、口蹄疫が発見してからとで、私の証言が異なっていることになっています。ブログの内容は、3月31日に口蹄疫の

症状にすでに竹島さんは気付いていながら、被害が拡大して初めて「そつえいは」と症状が口蹄疫に似ていたと白状した——そう読み取れる。

「知事は職員から、県にとつて都合の良い情報だけを聞かされて鵜呑みにしたんでしよう。私は牛の異常に気付いた時、毒か別のウイルスを疑ったとはっきり言いました。感染拡大後もそう言い続けています。農家が家保に通報することは、自ら警察に家宅捜索を頼むようなものです。そこまで覚悟しているのに、わざわざウソを言う理由がありません。また、このブログだけでなく県の畜産課が作った報告書もデタラメばかりだということ

が情報公開請求をして分かりました。このままでは正直に申告した農家がバカを見て、症状が出ているのに隠蔽した農家が見逃されてしまう。そんなことでは、口蹄疫の再発防止につながりません」

県の報告書には何か書かれていたのか。「国の疫学調査の基にもなった」県の報告書・竹島農場疫学調査票（送付用）という文書を見て驚きました。この書類は県の畜産課が作ったもので、私の農場にどういった人が訪れていたかなどが記されています。来訪者の欄には「不特定多数が勝手に入ってくる」、観光客の欄には「不特定多数、国籍不明」と書いてあったのです。宮崎で口蹄疫が発生する